

(様式2)

授業科目 神経内科学

科目コード番号

【担当教員名】 今村 徹	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】

日本では神経内科学とも称される臨床神経学は神経系の機能や構造を障害する疾患を扱う分野であり、神経系の正常機能・構造の理解に基いた論理的な思考が必要である。本科目では、1年次で学んだ神経科学（神経生理学、神経解剖学など）の知識・論理と疾患の理解が密接に結びついた領域を題材として、1日3時間の授業の中で生理学・解剖学の復習から、診察・検査法の演習、そして代表的な疾患の理解にいたるまでを一連の流れとして学ぶ。授業中の演習課題とともに、予習項目と復習課題を授業ごとに指示する。本科目の目的は神経疾患を逐次的に記憶することではなく、障害の原因を理解し、医療チームの有能なメンバーとなり他の専門職と良好な関係を形成できるようになるために、臨床神経学の考え方を理解することである。

課題は原則として社会福祉学部と医療技術学部の学生を混合したグループ単位で課すので、1年次に生理学、解剖学を十分習得できていない学生は、グループ内の医療技術学部学生から知識を吸収して補うこと。下記の参考書も医療技術学部学生が教科書として購入している。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書				
参考書	簡要神経学 ベッドサイドの神経の診かた	岩田誠, 岩田淳訳 田崎義明, 斎藤佳雄	メディカル・サイエンス・ インターナショナル 南山堂	2000年. 3800円 ISBN: 4-89592-249-9 1994年. 7200円 ISBN: 4-525-24715-0
その他 (プリント等)	適宜配布する			

【評価方法】

授業中の課題と予習課題、復習課題の成績で評価する

【履修上の留意点】

授業は社会福祉学科の履修者1人と医療技術学部（理学，作業，言語）の履修者3人からなる4人のグループを単位として行う。第1週は全グループ合同で、第2週以降は半数のグループずつに隔週で授業を行う。授業は前期後半にも開講するが、グループ分けは前期開始時に決定するので、履修希望者は全員4月9日月曜4限のオリエンテーションに出席すること。

【本科目の一般教育目標: GIO (General Instructional Objective)】

神経科学と臨床神経学の考え方を理解するとともに、神経科学と臨床神経学を学ぶ利点を感じる。

【行動目標: SBO (Specific Behavioral Objectives)】

(行動目標は授業ごとに具体的に提示する。)

授業計画

教室

回数	授業内容	SBO 番号	担当 教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	オリエンテーション		今村	講義	
2,3	下位運動ニューロンと末梢神経の生理学, 解剖学 神経伝導速度検査 神経筋疾患		今村	講義と演習	学生を被検者として神経伝導速度検査を実施する
4,5	上位運動ニューロンと体性感覚系の生理学, 解剖学 神経学的診察 脊髄疾患		今村	講義と演習	神経学的診察の供覧後, 学生同士で診察を演習する
6,7	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部形態画像検査 脳血管障害		今村	講義と演習	頭部 CT, MRI の正常像, 異常像の読影を演習する

その他